

流通経済大学 学報

RKU Today

SPRING / SUMMER 2018

流通経済大学 特別シンポジウム
ロジステイクスの未来をつくる



流通経済大学

vol.35

04 流通経済大学 特別シンポジウム まとめ：流通情報学部

ロジスティクスの未来をつくる

06 JICA大学連携事業 活動報告 報告：向山昌利（スポーツ健康科学部准教授）

インドネシアでのラグビー指導を終えて

08 Close Up! 流通経済大学

[教職員紹介]

10 流通経済大学・付属柏高等学校

サッカー部 優勝祝賀会開催!

12 流通経済大学創立50周年

流通経済大学50周年記念事業募金にご協力いただいた皆様(4)

12

新任教職員紹介

13 付属柏高等学校ニュース

2018年度～更なる活躍を目指して～

14

2018年度後援会総会報告

16

NEWS & TOPICS

2017年度卒業式ならびに大学院学位記授与式挙行／2018年度入学式挙行／RKU WEEK開催／新入生歓迎交流パーティー開催／第13回青春祭開催／父母懇談会開催／2017年度読書コメント大賞年間大賞決定／特別奨学生年度末報告会開催／観光クラブ総会・懇親会開催／JAL機体整備工場見学実施／学内合同企業説明会開催／東京2020参画プログラムに登録／折尾愛真高等学校との教育提携調印／キャリア教育提携に関する協定を締結／流通経済大学・松戸市教育委員会連携市民大学講座／龍ヶ崎市ラグビー協会イベントで活躍／交換留学生修了式／日本語スピーチコンテストに留学生が参加／サッカー U-21日本代表に選出／全日本大学フットサル大会茨城県大会で優勝／ラグビー U20日本代表の遠征メンバーに選出／全日本学生チアリーディング選手権大会出場／牛久グラウンド竣工／ワールドラグビー女子セブンズシリーズに参加

巻頭言

RKU Today SPRING / SUMMER 2018



スマホすなわちスマートフォンは人類が生み出した最高の通信端子であろう。なにしろ一人ひとりが、コンピューターをその手に有しているのだ。だが至便さに頼りすぎ道具に振り回されがちなることを忘れることがある。我々はスマホに使われては、ならない。使うのは我々であり、あくまで人間が主人公なのだ。

部の矢野裕児教授から「流通経済大学ロジスティクス産学連携プログラム」の実施報告があり



重田雅史物流審議官

続いて、流通情報学部の矢野裕児教授から「流通経済大学ロジスティクス産学連携プログラム」の実施報告があり

今後、どのようなロジスティクス展開が考えられるのか、今後のロジスティクスを支える高度な人材像とはどのようなものか、人材をどのように育成・確保していくべきか、その際、大学が果たすべき役割などに



矢野裕児教授

たロジスティクス教育を積極的に展開してきました。さらに2018年度から、ロジスティクスの研究拠点、人材育成拠点として機能する

心の高さがうかがわれました。業界団体、企業の方に多く来ていただいたほか、2018年4月から本学流通情報学部に進学が決まっている本学付属柏高等学校の生徒も参加しました。

野尻俊明学長による開会のあいさつ後、国土交通省大臣官房の重田雅史物流審議官から、「総合物流施策大綱(2017年度)2020年度」の実現に向けて」というテーマで基調講演がありました。物流に対する新しいニーズに応え、「強い物流」を実現していくための、「繋がる」、「見える」、「支える」、「備える」、「革命的に変化する」、「育てる」という6つの視点の説明がありました。特に、「育てる」では、物流現場の多様な人材の確保や高度化する物流システムのマネジメントを行う人材育成の重要性についての指摘がありました。



野尻俊明学長

材育成に向けての展望」というテーマで、パネルディスカッションが実施されました。パネリストは、日本通運の秋田進常務取締役、ダイワロジテックの秋葉淳二代表取締役社長、柿尾正之事務所代表で元日本通信販売協会理事の柿尾正之氏、日本ロジスティクスシステム協会の五関信之主任研究員、日本物流資格士会の早川哲志会長、花王ロジスティクスの山下太代表取締役社長、コイデイナーは矢野裕児教授で、進行しました。



杉山雅洋理事

最後に本学の杉山雅洋理事から、シンポジウムのまとめの挨拶があり、盛会のように無事終了しました。参加者の方のアンケートでも、ロジスティクス人材育成、IoT、AIなどの最新技術への取り組みの重要性、さらに本学に期待する声が多く聞かれました。流通経済大学では、これまでも、産学連携を含め

べく、産学連携による人材育成プログラムの実現や、IoT、AIとロジスティクス、災害とロジスティクス、スポーツとロジスティクス、地域におけるラストワンマイル、地域活性化に資するロジスティクスなどの研究グループを立ち上げる予定となっています。



パネリストの方々

流通経済大学 特別シンポジウム ロジスティクスの未来をつくる

新たなロジスティクス構築に資する研究拠点、人材育成拠点形成に関連するシンポジウムを開催

本学は、これまで物流、流通を重要な柱として研究を進め、多くの専門の人材を育成してきました。物流が大きな転換期を迎えるなか、本学が、さらに今後の新たなロジスティクス構築に資する研究拠点、人材育成拠点として機能していくため、様々な取り組みを実施、計画しています。その一環として2018年2月9日、アルカディア市ヶ谷(東京都千代田区)において、「ロジスティクスの未来をつくる」というテーマで、キックオフともいえるシンポジウムを国土交通省後援、日本通運、日本物流団体連合会、全国通運連盟、日本倉庫協会、航空貨物運送協会、日本ロジスティクスシステム協会協賛で開催しました。

まとめ：流通情報学部

現在、日本の物流、ロジスティクスは大きな転換期を迎えており、物流現場でのドライバーなどの人材不足は深刻化し、労働環境の改善、生産性の向上は喫緊の課題となっています。さらに、IoTやAI、ロボットなどの最新技術が進展するなか、これらの導人により、物流業も従来の労働集約型からの脱却が求められています。新たなロジスティクスを展開していくためには、高度なロジスティクス人材の育成が必要といえます。シンポジウムは、ロジスティクス分野の展望と次代を担う人材の育成と確保について考えていくことを目的に開催しました。参加者は約290名と、予定を上回る多くの方々のご来場があり、急遽座席数を増やすなど、本テーマに対する関



「JICA大学連携事業 活動報告」

インドネシアでのラグビー指導を終えて

報告…向山昌利(スポーツ健康科学部准教授)

2018年2月19日から

3月17日の約1ヶ月間に渡り、

インドネシアで3000人以上の人々に対して

ラグビーの競技力向上や普及を目的とする

活動を実施してきました。

本活動は、2017年7月に流通経済大学が

独立行政法人国際協力機構(JICA)と締結した

「青年海外協力隊に関する連携覚書」に基づいたものです。

本活動には、学生8名(大学院生2名含む)と

スポーツ健康科学部スポーツコミュニケーション学科の

西機真教授と私の10名が

ボランティア隊員として参加しました。

この覚書を結んだ大学の学生、院生、教職員は、

JICAボランティアとして対象国に滞在し、

大学の持つ専門知識を生かしてボランティア活動を

行います。限られた紙面で本活動の全体像を

お伝えすることは難しいので、この活動報告では

ラグビーに関わる活動と文化(言葉と食事)について

お伝えしたいと思います。



学生の成長の機会としても

本活動の目的は、インドネシアのラグビー競技力向上とラグビーの普及でした。私たちはトレーニングを通じて現地選手の技術習得、戦術理解といった競技力向上を目指しつつ、ラグビーに触れたことのない初心者に対してラグビーの魅力を伝えることも目指しました。その中で、私たち教員は現場の指導を学生に任せること、彼らの成長の機会を作ることを試みました。たとえば、私たちが現地の選手たちを直接指導することは、どうしても介入が求められる場合に限定し、代わりに学生に対するアドバイス(振り返り)を活用することを強く意識しました。活動についての振り返りを学生とともに続けた結果、活動終盤には現地の

ニーズに十分応えることのできる活動を実現することができました。インドネシアでは首都ジャカルタだけでなく、ジョグジャカルタ、ボジョネゴロ、パレンバンが活動拠点でした。主な活動拠点であったジャカルタとジョグジャカルタでは、それぞれの州立大学がカウンターパートでしたので、学生にとっては競技力向上に貪欲な同世代の選手を指導する貴重な機会となりました。一方、ほとんどの地域で競技力向上だけでなく普及を目的とした活動も実施しましたので、指導する選手の年齢が小学生から大学生までと幅広いうえに、初心者から国代表に近いクラスまで様々なニーズに就いて指導を行う必要がありました。



環境での指導にチャレンジしなければならぬこともありました。

異文化を経験

私たちの活動目的を達成するために重要だったの

は、コミュニケーションでした。私に

とってインドネシア語は非常に難しく、現場での意思疎通は大変でした。学生たちはすぐに片言のイン

ドネシア語で自己紹介を行い、現地の人々の興味をひきつけていました

が、私は最後まで片言のインドネシア語でさえ上手に使いこなすことが

できませんでした。現地での指導

現場には通訳がいまませんでしたから、

学生が困り果てて私に助けを求め

てきた時は、インドネシア語と同様に

拙い英語、そして身振り手振りで

意思疎通を図りなんとか切り抜け

ました。

インドネシアでの食事もなかなか

大変でした。ホテル住まいでしたが、

全ての食事が外食だったわけですが、

私の知っている唯一のインドネシア

料理であったナシゴレンを毎回食べ

続けることはできず、運に身を任

せて他の食事をオーダーしてレパ

トリーを増やしていきました。一



度、インドネシアのラグビー関係者に「蛇を食べに行こう」と誘われたことがありました。私は世の中で蛇が一番嫌いなのですが、ナシゴレンに辟易していましたし、「異文化を経験できる時には、必ずチャレンジする」というルールを大切にしていましたので意を決して食べてみることにしました。屋台で年配の女性が息子と思われる男性と、生きているコブラを目の前で「豪快」に捌いて焼鳥の

ように串刺しにして焼いてくれました。コブラの肉はとても硬く、味はほとんどしなかったように思いますが、たとえるならば、硬い鳥の皮でしょうか。

今回の活動で得たもの

私たちの活動に対しては、幸いにも、「ポジティブな影響をインドネシアに対して与えてくれた」と現地から感謝の気持ちを伝えられています。また、私たちが帰国した後も、指導したトレーニングメニューは継続して実施されているようです。くわえて、普及活動も現地の大学生に引き継がれ定期的に実施されているということです。

私たちが海外でラグビーを指導する経験を積んだだけでなく、異文化を肌で感じる貴重な機会も得ることができました。このような経



今回のインドネシアでの活動のように、学生や教員が強みを生かした国際貢献をしながら自らも学ぶというプロセスは、流通経済大学が大切にしている「グローバル教育」と「実践」と学びの両立」を体現するものだと思います。JICAとの連携事業は少なくとも今後2年間は継続されますし、ジャカルタ州立大学やジョグジャカルタ州立大学関係者とともに本学との交流に大きな関心を持っています。私たちの活動がたとえわずかであっても、本学の目指す教育理念を後押しする契機ともなれば大変嬉しく思います。



[新松戸総合事務センター(就職担当)]
右近公洋 係長
Kimihiro Ukon

大学事務職員として

学生が本学で過ごす「4年間を充実したもの」にするために職員として何が出来るかを心がけ業務に取り組んでいます。ただ、学生にとって何をもちって満足感を得るかは十人十色です。そのため、学生への対応は非常に難しく毎日が勉強です。本学の職員として11年が経ち、一昨年末までは龍ヶ崎キャンパスの学生生活課業務に携わり、昨年度から新松戸キャンパスで就職支援の業務に携わっております。私自身は就職氷河期と言われる時代で現在のようないきいきした市場と言われる学生にとって有利な状況ではありませんでした。縁あって高等教育機関である本学で働く機会を与えていただきましたが、教育機関で働くことの意味を考えると不安になることが多いです。職員は1年間を通じ、試行錯誤しながらその年ごとに合ったことに取り組んでおりますが、学生にとっては「今」を大切に過ごさなければやり直しは効きません。その瞬間をともに過ごす重要性を教職員はもっと認識しなければいけないと思っています。



[スポーツ健康科学部]
生方 謙 教授
Ken Ubukata

スポーツを通じて豊かな人間性の向上を図る

企業が求める人材について、基礎学力や専門知識に加え、コミュニケーション能力や、積極性、協調性などの「行動能力」が重要視されています。これは人の内面に根付いた特性であり、知識や文献だけでは容易に行動変容に繋げることができません。専門分野の勉強ももちろん大事。しかし私たちスポーツの教員は、人として大事な土台を身につけた上で、社会に送り出す使命があると思っています。スポーツを通じて豊かな人間性の育成に励み、社会に貢献できる人材を育成していきたいと強く願っております。
<スポーツ心理学ゼミナール(生方ゼミ)>
本番で普段通りのパフォーマンスを遂行するためには、多くの準備が必要です。自分で自分の心をコントロールし100%の実力を発揮できるような準備はどうですか？選手として、また指導者としてパフォーマンス向上のために必要な心理的スキルを獲得し、実際に活用できるようになることを目的とし、心理学やスポーツ心理学の理論と技法に基づく計画的で教育的な活動を行います。



[法学部]
富田美智江 助教
Michie Tomita

異文化理解への第一歩

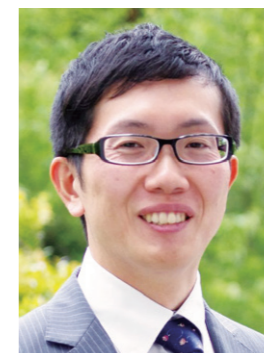
教育学習支援センター及び就職支援センターの専任所員を経て、2016年より法学部に着任しました。専門は中国文化史で、民俗学や外国文化論(アジア)などの教養科目を主に担当しています。講義ではアジア各地域の文化の紹介に力を入れています。日本は歴史的に中国やその周辺地域から多くの影響を受けてきました。一見まったく異なる文化のように見えても、思わぬ共通点があったりします。逆に、類似する文化の中にも様々な違いが存在します。その違いこそがそれぞれの独自性といえるでしょう。違いは他者との比較を通じて初めて見えてくるものです。隣人を知ることは自分を知ることに繋がるのです。
世界はまだ多様性を残しています。グローバル化の進む現代で必要とされる異文化理解力を高めるためには、多くの文化に触れることが一番です。私の講義がその一助となることを願っています。



[流通情報学部]
大島玲子 助教
Ryoko Ohata

「言語×文化=国際人」

2016年4月より1年間、教育学習支援センターの所員として勤務し、2017年に英語教員に着任しました。アメリカで英語教育の修士号を取得したこともあり、TOEICなどの英語クラス全般を担当しています。また、以前は外国人学生を対象に日本語を教えていました。今はまたその延長で日本語関連の研究を進めています。
英語も日本語も、共通点は「言語」であるということです。「ことばの学習」と聞くだけで「あ、苦手…」という人がいます。でも背景には必ず、英語には英語の、日本語には日本語の「文化」があります。ことばを学ぶということはその言語が話されている文化も一緒に学んでいくということなのです。
東京オリンピックを目前に控え、以前にも増して国際舞台で活躍する機会が増えています。みなさんにはそれぞれの言語の、それぞれの文化の一番いいところを学び、生かし、国際人として活躍して欲しいと思っています。そのためのお手伝いができれば幸いです。



[社会学部]
澤海崇文 助教
Takafumi Sawaumi

偏見を持たずに理解することの大切さ

私の専門は、社会心理学です。コミュニケーションに関する文化比較、パーソナリティのPC上での測定などを研究しています。なぜ私のような社会心理学者が国際観光学科に着任したのでしょうか。それは私もわかりません(笑)。
グローバル化の進む現代、日本国内で多くの外国人と触れ合う機会が増えました。そこでは異文化理解が非常に大事です。例えば食事のマナーを考えてみてください。日本では左手にお茶碗を持って食べるのが礼儀にかなうとされていますが、韓国ではどうでしょうか。韓流ドラマを見たことがあるならご存じかもしれません。お茶碗を食卓に置いたまま食べるのが一般的です。このように、自分とは異なる行動を見て、即座に「だから〇〇人は云々」と決めつけて偏見を持ってしまわないのではなく、フェアな視点で状況を理解することがこれからの時代に必要になってきますし、私の授業では視点を変えて観察してみることの重要性を説いています。



[経済学部]
百瀬 優 准教授
Yu Momose

社会保障を学ぶ意義

講義では、社会保障論を担当しています。二つの理由から、在学中にぜひ社会保障を学んで欲しいと思っています。
ひとつは、社会保障が君たちの生活に密接に関係する制度だからです。君たちは、医療保険によって、病気をしたときに少ない負担で治療が受けられます。また、事故などで障害の状態に至った場合は、公的年金から障害年金が支給されます。老後は、老齢年金が支給されます。社会保障なしで君たちのこれからの生活を組み立てることは不可能になっています。もうひとつは、社会保障がややオーバーに言えば国のかたちを決める制度だからです。今、1年間で社会保障のために約120兆円のお金が使われています。先進国では、どこの国でも、政府の経済活動において最大のウェイトを占めるのは社会保障です。それゆえ、その社会保障の負担と給付のバランスをどうするかは、そのままその国のかたちを決めると言えます。一国民として、制度の現状と課題を踏まえたいうえで、今後の社会保障のあり方を考えることが、この国の未来を考えることとなります。



1月27日、都内のホテルにおいて、流通経済大学および付属柏高等学校サッカー部の「優勝祝賀会」が開催されました。本学サッカー部は、平成29年度第66回全日本大学サッカー選手権大会において優勝を成し遂げ、また付属柏高等学校サッカー部は、平成29年度全国高等学校総合体育大会サッカー競技大会で優勝を果たし、さらに第96回全国高校サッカー選手権大会において準優勝するなど優秀な成績を収めました。

本学の野尻俊明学長、付属柏高等学校の林静男校長の挨拶で始まった祝賀会では、公益社団法人日本サッカー協会会長の田嶋幸三様、一般財団法人全日本大学サッカー連盟顧問・学校法人国士館理事長の大澤英雄様、公益財団法人日本サッカー協会理事 暁星高等学校サッカー部監督の林義規様、衆議院議員の櫻田義孝様、龍ヶ崎市長の中山一生様、公益社団法人千葉県サッカー協会副会長兼専務理事の福永廣幸様よりご祝辞をいただきました。

また、本学サッカー部の中野雄二監督、付属柏高等学校サッカー部の本田裕二郎監督からの優勝報告、選手、スタッフの紹介、さらにリーグに内定した選手の紹介もあり、多くの方々の支えに感謝し、日々練習を積み重ねた選手たちの笑顔にさらなる活躍を期待する場となりました。

優勝祝賀会開催!

流通経済大学・流通経済大学付属柏高等学校サッカー部

2018年度～更なる活躍を目指して～

2017年度はサッカー部の偉業達成(インターハイ優勝・高校選手権準優勝)によって校内の行事や諸活動が盛り上がりただけでなく、学業面でも実力を発揮して進路実績が向上した年となりました。高大一貫教育を目指す流通経済大学への進学は卒業生の25%にあたる80名を数え、特別奨学生試験には4名が合格しました。また、旧帝大を含む国立大学や難関私立大学にも数多く合格し、既卒生を含めると東大や東工大の合格者も出ました。中高一貫校ではない私立高校の実績としては目を引く結果となり、スポーツだけではなく学業面での評価を高めた年でもありました。

2018年度は383名の生徒が入学し、今年の在籍生徒数は昨年より63名多い1,160名(男子655・女子505)となり、各学年すべて10クラス編成(I類6・II類2・III類2)でスタートしました。

部活動はますます活発で、ラグビー部は春の全国高校選抜大会でベスト4、サッカー部は再び咲いたプレミアリーグで5戦無敗の好発進、野球部は春季県大会ベスト8で夏季大会のシード権を獲得しました。有望選手が入部した駅伝部などの活躍も楽しみです。応援を盛り上げるチアリーディング部の演技も上達し、文化部では吹奏楽

部や放送部、書道部などの活躍が期待されます。今年も応援、ご支援よろしくお願いいたします。

一方、グローバル化の進行、大学入試での英語4技能の重視や検定試験導入への対策、高大接続改革などに向け、国際交流を推進させる取り組みや学習対策にも力を入れています。1999年から続いているフランス・オンブローザ校との交換留学、今年新たに始めるニュージーランドでの語学研修、海外からの留学生の受け入れ、流通経済大学を訪れる南オレゴン大学の研修生との交流もさらに進め、本校生徒が良い刺激を受けることを期待しています。また、今年の入学生からはIII類(特進)コース生徒全員にノートパソコンを所持してもらい、パソコンでの映像授業等を行っています。I・II類コースの生徒に対しても、早期にICT教育の充実を図る予定です。

今後も、流通経済大学の附属高校としての建学の理念を大切にしながら、本校独自の幅広い教育を展開し、国際社会で活躍できる社会有為の人材の育成に努めてまいります。皆様方の温かいご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

校長 林 静男



チアリーディング部(校舎全景)



ラグビー部 2018年全国高校選抜大会ベスト4

国際大会での優勝を母校に報告

第96回全国高校サッカー選手権(2017年度)の優秀選手を中心に構成された日本選抜チームは、第56回デュッセルドルフ国際ユースサッカー大会(ドイツ)に出場し、4月2日に5年ぶり2度目の優勝を果たしました。本校からは、宮本優太(MF)・菊地泰智(MF)・薄井頼斗(GK)の3選手が選出。全員がレギュラーに抜擢され全試合にフル出場して大活躍し、日本の優勝に大きく貢献しました。3人ともプロ選手になって活躍する夢を抱いて流通経済大学に進学していますので、今後の大学リーグや各種大会での活躍が楽しみです。



流通経済大学50周年記念事業募金にご協力いただいた皆様(4)

(平成29年12月1日～平成30年4月30日までのご入金分を掲載)

前号に続き、流通経済大学創立50周年記念事業募金にご協力いただきました方々のご芳名を掲載させていただきます。ご寄付金は有意義に使用させていただきます。ご芳名は永久に銘記させていただきます。皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

平成30年5月 流通経済大学創立50周年記念事業募金室 ※掲載はご許可いただいた方のみです(敬称略)。

<p>法人</p> <ul style="list-style-type: none"> 30万円 電通工業(株) 10万円 魚津海陸運輸倉庫(株) 	<p>在校生(保護者含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> 5万円 栗内繁行 2万円 長谷川康子 1万円 植木真由美 	<p>ご芳名のみの方</p> <ul style="list-style-type: none"> 浅賀久夫 石川悠太 丑尾匠海 海野智秋 櫻井晶 田村圭 蛭田峻 松崎祐二 水城幸輔 峯村佳宏 武藤吉秀 安川栄文 若旅直人 	<p>一般</p> <ul style="list-style-type: none"> ご芳名のみの方 市川新(旧教職員)
--	--	--	--

新任教職員紹介

2018年度に本学に新たに赴任した教員・職員を紹介します。

後藤 哲雄 経済学部教授(特任)

●経歴・取得学位等
北海道大学大学院農学研究科博士課程修了
アムステルダム大学博士研究員、茨城大学農学部教授
学位：農学博士

酒入 陽子 スポーツ健康科学部教授

●経歴・取得学位等
学習院大学人文科学研究科史学専攻博士後期課程単位取得退学
小山工業高等専門学校教授
学位：修士(史学)

参鍋 篤司 経済学部准教授

●経歴・取得学位等
京都大学博士課程修了
京都大学、早稲田大学、東京大学などで研究員、助教。オックスフォード大学客員研究員、OECDコンサルタント、株式会社政策基礎研究所等
学位：博士(経済学)

中原 篤徳 経済学部准教授

●経歴・取得学位等
筑波大学大学院博士課程人間総合科学研究科芸術学専攻修了
筑波大学芸術学系助手(文部科学教官)、田園調布学園大学子ども家庭福祉学科専任講師、田園調布学園大学子ども未来学科准教授
学位：博士(芸術学)

難波 和秀 経済学部准教授

●経歴・取得学位等
広島大学大学院博士前期課程修了、高知工科大学大学院博士後期課程修了
シャープ株式会社、ソニー株式会社
学位：博士(学術)

長澤 勢理香 経済学部助教

●経歴・取得学位等
同志社大学大学院経済学研究科博士後期課程修了
同志社大学経済学部助教、関西大学経済・政治研究所非常勤研究員
学位：博士(経済学)

福井 一喜 社会学部助教

●経歴・取得学位等
筑波大学大学院博士後期課程生命環境科学研究科地球環境科学専攻地誌学分野修了
筑波大学大学院生命環境系博士特別研究員等
学位：博士(理学)

阿部 優子 法学部助教

●経歴・取得学位等
中央大学大学院法学研究科民事法専攻博士後期課程単位取得退学
学位：修士(法学)

水林 翔 法学部助教

●経歴・取得学位等
東北大学文学部卒業、民間企業勤務を経て早稲田大学修士入学
一橋大学大学院法学研究科博士課程修了
学位：博士(法学)

宗宮 悠子 スポーツ健康科学部助教

●経歴・取得学位等
筑波大学人間総合科学研究科博士前期課程体育学専攻舞踊コース修了
筑波大学人間総合科学研究科3年制博士課程コーチング学専攻(在籍中)
学位：修士(体育学)

田山 寛豪 スポーツ健康科学部助教

●経歴・取得学位等
流通経済大学スポーツ健康科学部大学院スポーツ科学研究科修了【記録】アテネ・北京・ロンドン・リオデジャネイロオリンピック トライアスロン日本代表、日本トリアスロン 選手権11回優勝
学位：修士(スポーツ健康科学)

吉川 徹 スポーツ健康科学部助教

●経歴・取得学位等
筑波大学大学院体育学専攻、筑波大学大学院スポーツ医学専攻
日本学術振興会 特別研究員DC1
学位：博士(スポーツ医学)

鈴木 武 総合情報センター事務部長
兼情報システム課長
兼図書館事務部長兼図書課長

野矢 大貴 入試課

西原 栄美 新松戸総合事務センター(就職担当)

外山 聡太 スポーツ健康科学部インストラクター

多田 一葉 スポーツ健康科学部インストラクター

第5号議案

2018年度収支予算に関する件

2018年度収支予算書

自 2018年4月1日 至 2019年3月31日

(金額単位:千円)

項目	予算	摘要
前年度からの繰越	4,660	
前年度の回収	2,322	
収入の部		
入会金	7,000	入学者1,400名(うち留学生135名、編入生3名)
会費収入	66,208	
計	73,208	
収入合計(A)	80,190	
支出の部		
通信費	1,600	広報誌送料等
印刷費	1,000	広報誌印刷等
会議費	200	
事務費	5,000	
父母懇談会費	3,500	会場使用料、案内状・配付資料作成等
雑費	150	
小計	11,450	
諸行事後援費	9,000	惜別会、卒業記念品等
小計	9,000	
求人開拓費	700	求人のための大学案内作成等
就職指導費	12,600	業界説明会開催費、模擬試験等受験料、学生配布資料作成等
小計	13,300	
課外活動補助費	9,000	スポーツ傷害保険料、課外活動備品等
大学祭・体育祭補助費	1,600	
クラブ顧問補助費	30,000	遠征、合宿等の旅費等の補助
小計	40,600	
環境整備寄付金	2,000	
予備費	3,840	
支出合計(B)	80,190	
翌年度へ繰越(A-B)	0	



第3号議案

2018年度役員選出に関する件

2018年度の役員が決定しました。

会長	佐久間 行雄
副会長	山田 佳史 松園 洋
監事	飯高 将史 大徳 均

以上

第4号議案

2018年度事業計画に関する件

2018年度事業計画

2018年度は、本後援会の目的(会則第3条)及び事業(第5条)にそって、次に掲げる事業を推進していくものとする。

1 後援会会員(父母)と大学との連携

(1) 父母懇談会の実施に伴う諸費用の援助

開催都市	開催予定日
龍ヶ崎キャンパス	6月30日(土)
新松戸キャンパス	7月7日(土)
いわき市	7月14日(土)
山形市	7月21日(土)
新潟市	7月22日(日)
米子市	8月4日(土)
福岡市	8月5日(日)
松山市	8月25日(土)
広島市	8月26日(日)
札幌市	9月2日(日)

(2) 広報誌の発行及び費用援助
大学と父母を結ぶ広報誌『RKU Today』発行の費用を負担する。

2 就職活動への援助

- 求人開拓に関する援助
- 就職指導に関する援助
- 就職適性検査・就職実践模擬試験・エントリーシート攻略テスト受験料の全額負担

3 課外活動に対する援助

- 文化系、運動系クラブに対する援助
- 課外活動関係設備を充実するための援助
- 課外活動傷害保険料の全額負担

4 諸行事への援助

- 学生が開催する大学祭等の行事に対する援助
- 卒業生に対する卒業記念品の贈呈、惜別会開催費用の援助

5 後援会奨学金の貸与

家計急変等により学業継続が困難となった学生に、大学と協力し後援会奨学金を貸与する。

6 その他

環境整備への援助

以上

第2号議案

2017年度収支決算に関する件

2017年度収支決算書

自 2017年4月1日 至 2018年3月31日

(金額単位:円)

項目	予算(a)	実績(b)	増減(b-a)	備考
前年度からの繰越	4,504,469	4,504,469	0	
前年度の回収	2,335,505	2,335,505	0	
収入の部				
入会金	7,015,000	7,130,000	115,000	入学者1,442名(うち外国人留学生156名、編入生3名)
会費収入	66,045,000	67,195,000	1,150,000	入会金・会費減額者16名
利息収入	0	2,327	2,327	預金利息
計	73,060,000	74,327,327	1,267,327	
収入合計(A)	79,899,974	81,167,301	1,267,327	
支出の部				
通信費	2,000,000	1,326,800	△ 673,200	広報誌送料等
印刷費	1,200,000	672,121	△ 527,879	広報誌印刷費等
会議費	200,000	156,539	△ 43,461	
事務費	5,000,000	4,910,000	△ 90,000	
父母懇談会費	4,500,000	3,424,567	△ 1,075,433	父母懇談会開催費用
雑費	150,000	82,989	△ 67,011	振込手数料他
小計	13,050,000	10,573,016	△ 2,476,984	
諸行事後援費	9,000,000	6,514,599	△ 2,485,401	卒業記念品代、惜別会費用等
小計	9,000,000	6,514,599	△ 2,485,401	
求人開拓費	900,000	47,640	△ 852,360	
就職指導費	12,600,000	9,408,806	△ 3,191,194	就職説明会等補助、就職適性検査・就職模擬試験受験料
小計	13,500,000	9,456,446	△ 4,043,554	
課外活動補助費	9,000,000	6,223,115	△ 2,776,885	スポーツ傷害保険料、課外活動備品購入等
大学祭・体育祭補助費	1,600,000	1,300,000	△ 300,000	大学祭への援助
クラブ顧問補助費	28,000,000	38,118,235	10,118,235	遠征、合宿等の旅費等の補助
小計	38,600,000	45,641,350	7,041,350	
環境整備寄付金	2,000,000	2,000,000	0	
前渡金	0	2,321,696	2,321,696	
支出合計(B)	76,150,000	76,507,107	357,107	
翌年度へ繰越(A-B)	3,749,974	4,660,194	910,220	

財産目録 (2018年3月31日 現在)

(金額単位:円)

項目	金額	摘要
(一般資金)		
現金	165,457	手許残高
預金(常陽銀行 竜崎支店)	4,494,737	期末残高
小計	4,660,194	
(育英資金)		
定期預金(常陽銀行 竜崎支店)	10,000,000	育英基金
定期預金(常陽銀行 竜崎支店)	15,000,000	育英基金
定期預金(常陽銀行 竜崎支店)	10,000,000	育英基金
定期預金(常陽銀行 竜崎支店)	10,000,000	育英基金
定期預金(千葉銀行 柏支店)	10,000,000	育英基金
定期預金(千葉銀行 柏支店)	10,000,000	育英基金
定期預金(千葉銀行 柏支店)	15,000,000	育英基金
定期預金(千葉銀行 柏支店)	5,000,000	育英基金 果実
普通預金(千葉銀行 柏支店)	3,068	育英基金 果実
普通預金 奨学金口(常陽銀行 竜崎支店)	3,993,117	育英基金 果実
育英基金貸付金	2,766,000	5名
小計	91,762,185	
合計	96,422,379	
負債の部	0	
差引正味財産	96,422,379	

監査報告書

流通経済大学後援会会則第10条第3項の規定により、2017年度流通経済大学後援会収支決算について諸帳簿を監査した結果、その内容についてはいずれも正当なものと認め、第13条の規定により報告いたします。

監事 山田 佳史
監事 松園 洋

2018年3月27日

2018年度後援会総会報告

2018年4月1日、入学式終了後に2018年度後援会総会が開催され、各議案について審議、承認がなされました。本学在学生の父母で構成される後援会は、大学と各家庭との連携を深め、本学の発展・向上を図るために各種事業を行っています。

第1号議案

2017年度事業報告に関する件

2017年度事業報告

2017年4月1日開催の後援会総会において、ご承認いただいた事業計画にもとづいて、次のとおり2017年度の事業を実施した。

1 後援会会員(父母)と大学との連携

(1) 父母懇談会の開催状況

開催都市	実施日	父母出席者数
龍ヶ崎キャンパス	7月1日(土)	188名
新松戸キャンパス	7月8日(土)	454名
佐賀市	7月15日(土)	18名
鹿児島市	7月16日(日)	9名
松本市	7月22日(土)	5名
富山市	7月23日(日)	16名
大阪市	8月5日(土)	12名
静岡市	8月6日(日)	15名
盛岡市	8月26日(土)	22名
仙台市	8月27日(日)	23名
岡山市	9月9日(土)	5名
徳島市	9月10日(日)	6名
12会場		773名

(2) 広報誌発行の費用援助
大学と父母を結ぶ広報誌『RKU Today』発行の費用を負担した。

2 就職活動への援助

後援会発足以来の重点施策の一つである大学の求人開拓や就職指導に関して全面的に協力し、費用の一部を負担した。また、就職適性検査・就職実践模擬試験の受験料を全額負担した。

3 課外活動等に対する援助

- 文化系、運動系クラブに対する援助
大学の課外活動振興が円滑に推進できるよう、文化系、運動系クラブに備品を購入する等の援助をした。
- 課外活動関係設備を充実するため援助した。
- 課外活動傷害保険料を全額負担した。

4 諸行事への援助

- 学生が開催する大学祭等の行事に対して援助金を交付した。
- 卒業生に対し卒業記念品を贈呈し、惜別会開催の費用を援助した。

5 その他

環境整備への援助

以上

2017年度読書コメント大賞年間大賞決定

7

2018年度入学式挙行

2

2017年度卒業式ならびに 大学院学位記授与式挙行

1

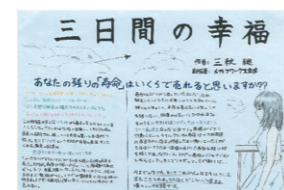
年間大賞



図書館が開催している「読書コメント大賞」の2017年度年間大賞の選考会が行われました。読書コメント大賞は、自分が読んだ本のおすすめコメントを感想も交えながらPOP風にまとめてもらい、その中から優秀な作品を選考するという企画です。

2017年度の応募総数は242点でした。多数の応募作品の中から選ばれた年間大賞1点と年間優秀賞3点をご紹介します。

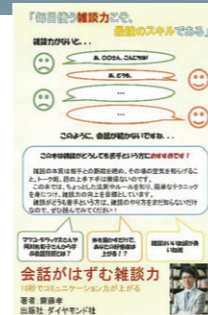
年間優秀賞



小林みゆさん(社会学部1年)
「三日間の幸福」
三秋雄 著 (KADOKAWA)



徳永風香さん(社会学部2年)
「星のタクシー 車のいろは空のいろ」
あまきみこ 作 北田卓史 絵 (ポプラ社)



成田勇也さん(経済学部3年)
「会話がはずむ雑談力ー10秒でコミュニケーション力上がる」
齋藤孝 著 (ダイヤモンド社)

徳永風香さん(社会学部2年)
「さよならを待つためのために」
ジョン・グリーン 著 金原瑞人 訳 竹内茜 訳 (岩波書店)

4月1日、2018年度入学式が龍ヶ崎キャンパスのメインアリーナにおいて挙行されました。

会場は学部新入生1,413名に加え、大学院生や編入生、多くのご父母の皆様で満席となり、野尻俊明学長から式辞、安藤伸樹校友会長からは祝辞が贈られました。



3月20日、龍ヶ崎キャンパスのメインアリーナにおいて2017年度卒業式ならびに大学院学位記授与式が行われ、学部卒業生、大学院修士課程修了生が晴れて卒業しました。

卒業式終了後は惜別会が催され、卒業生は恩師や校友と交流し、学び舎で学生としての最後のひとときを過ごしていました。



観光クラブ総会・懇親会開催

9

特別奨学生年度末報告会開催

8

新入生歓迎交流パーティー開催

4

RKU WEEK開催

3

3月10日、新松戸キャンパスにて、国際観光学科卒業生が主体のOB組織「観光クラブ」の総会・懇親会が開催されました。OB会員、在校生、現職・OB教員、職員をはじめ、学長、校友会長、学部長も出席して総勢約70名で賑やかに親睦を深め、出席者全員で記念写真を撮り閉宴しました。



2月5日、新松戸キャンパスにおいて2017年度特別奨学生年度末報告会が開催されました。午前中は各学年に分かれて成果報告分科会発表や次年度の活動に向けた説明が実施され、午後は午前中に代表者に選出された学生による、「RKU未来力チャレンジ活動報告会」(2年生)と「最終成果報告会」(4年生)が行われました。



4月27日、第5回新入生歓迎交流パーティーを開催し、新入生、在校生合計98人が参加しました。このイベントは、新入生歓迎交流パーティー実行委員主催、新松戸学生会協賛で行われ、新入生に他学部、他学年の学生との交流の場を提供し、大学生活を豊かにしてもらうためのものです。



4月2日から6日にかけて、新入生向けプログラムであるRKU WEEKが龍ヶ崎・新松戸両キャンパスで開催されました。新たに始まる学生生活を不安なく過ごせるように組み込まれたプログラムに、新入生たちは熱心に取り組んでいました。



学内合同企業説明会開催

11

JAL機体整備工場見学実施

10

父母懇談会開催

6

第13回青春祭開催

5

4月18日、新松戸キャンパスにて、新4年生を対象とした学内合同企業説明会を開催。大学新聞社協力のもと「目指せ! 早期内定!!」を目標に、本学の学生に興味のある企業、OB・OG が活躍している企業などが学内に一挙集合しました。



2月14日、業界・企業研究の一環として羽田空港にあるJAL機体整備工場を見学しました。滑走路にまつわる話や飛行機が飛ぶ仕組みなどについて学び、また格納庫での機体整備の様子を見学するなど、普段見られない空港の裏側を見ることで、学生たちは刺激を受けていました。



7月から9月にかけて、龍ヶ崎、新松戸の両キャンパスも含めて全国12の会場で父母懇談会が開催されています。懇談会には学生のご父母の方々が多数出席され、大学の担当者による学業や就職についての説明に熱心に聞き入っていました。



6月16日、17日の2日間に渡って、新松戸キャンパスの学園祭「第13回青春祭～動き出せ、僕らの青春!～」が開催されました。学生による模擬店や研究発表、音楽ライブのほか、お笑いライブ、大道芸など盛りだくさんの内容で、卒業生や地域の方々にも多数ご来場いただきました。



全日本大学フットサル大会
茨城県大会で優勝

20

5月5日、取手グリーンスポーツセンターにて開催された第14回全日本大学フットサル大会茨城県大会で本学フットサル部が優勝し、7月16日に駒沢オリンピック公園屋内球技場で開催される関東大会に出場しました。



サッカーU-21日本代表に選出

19



本学サッカー部のオビ・パウエルオピナ選手(法学部3年・写真左)とアピアタウィア久選手(スポーツ健康科学部1年・写真右)が、U-21日本代表に選出されました。

龍ヶ崎市ラグビー協会
イベントで活躍

16



5月27日、本学のラグビー部が中心となって「りゅうがさきラグビーフェスティバル」をたつのこフィールドで開催。ラグビーを通して市民と交流を図りました。

大東文化大学との公式戦のほか、子ども向けの体験教室や、選手が大型バスを引っ張る「バス引き」などで会場は大盛り上がり。多くの家族連れが楽しんでいました。

東京2020参画プログラムに登録

12

本学は、3月に東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会主催の東京2020参画プログラムの主体として登録されました。このプログラムは、「様々な組織・団体がオリンピック・パラリンピックとつながりを持ちながら大会に向けた参画・機運醸成・レガシー創出に向けたアクションが実施できる仕組み」です。



折尾愛真高等学校との
教育提携調印

13

6月8日、折尾愛真学園(北九州市)において、本学と折尾愛真高等学校との教育提携調印式が執り行われました。

今後は相互の信頼関係を基盤とする教育、文化・スポーツ活動に係る交流・連携を通じて、高校教育と大学教育の発展を図ることとなります。(写真左から本学の野尻俊明学長、折尾愛真高等学校の増田仰校長)



全日本学生チアリーディング
選手権大会出場

22

本学のチアリーディング部が12月23日、24日に行われた全日本学生チアリーディング選手権大会に出場しました。今回は残念ながら予選敗退という結果となりましたが、今後の成長に期待です。



ラグビーU20日本代表の
遠征メンバーに選出

21

本学ラグビー部の津嘉山廉人選手(スポーツ健康科学部2年)が、U20日本代表の遠征メンバー28名に選出され、フランスで開催された「ワールドラグビー U20チャンピオンシップ2018」に出場しました。



交換留学生修了式

17

1月22日、海南大学(中国)からの交換留学生2名の修了式が龍ヶ崎キャンパスで行われ、野尻俊明学長から祝辞と修了証書が授与されました。(写真左から鄒雨珂さん、野尻学長、呉宇欣さん)



ワールドラグビー女子
セブンズシリーズに参加

24

本学スポーツ健康科学部2年の鈴木彩夏選手(写真右端)が、女子セブンズ日本代表(サクラセブンズ)としてHSBCワールドラグビー女子セブンズシリーズ2017-2018の第1戦から第4戦までのすべての大会で出場。第5戦フランス大会でも遠征メンバーに選出されています。



牛久グラウンド竣工

23

2月3日、硬式野球部の練習場である牛久グラウンド改修工事の竣工式が行われました。今回の改修工事では、内野を除く全てが人工芝で敷き詰められ、選手たちは今まで以上に快適な練習環境でプレーができるようになりました。



日本語スピーチコンテストに
留学生が参加

18



2月4日の「外国人による日本語スピーチコンテスト in 柏」にベトナム出身のファン・スアン・シンさん(流通情報学部2年)が、そして2月17日の「第26回松戸市外国人日本語スピーチコンテスト」にはスリランカ出身のナワラタナ・スプンさん(法学部2年)とベトナム出身のピィ・ティ・フォン・クインさん(社会学部2年)が参加し、それぞれ見事なスピーチを披露しました。

キャリア教育提携に関する
協定を締結

14

本学は、JTB International (Canada) Ltd.が設置するJEIC (JTB Educational Institute of Canada)と、キャリア教育提携に関する協定を締結しました。今後は、カナダでの現地研修をよりいっそう推進することとなります。(写真左から本学の野尻俊明学長、JTB International (Canada) Ltd.の小室厚作日本代表)



流通経済大学・松戸市
教育委員会連携市民大学講座

15

6月、「地域コミュニティの現状と課題～時代と共に移り変わるコミュニティ」をテーマに、平成30年度流通経済大学・松戸市教育委員会連携市民大学講座が4回に渡って新松戸キャンパスで開催されました。社会学部の大橋純一教授、根橋正一教授による講座に、多くの方々に参加されました。



【編集後記】

●現在ある仕事の多くが将来AIにとって代わられるという話をよく聞く。ロジスティクスのみならず、この先、人間ができる仕事、すべき仕事は何なのか、考えるべき時機に来ているようである。
●インドネシアでのラグビー指導、これはまさに人間でなければできないことである。異文化の人々と触れ合い、教えるという体験を通して、学生たちはその何倍ものことを学んできたに違いない。

●日本で開催される2019年ラグビーW杯、2020年東京オリンピックは、選手としてあるいはボランティアとして、多くの人がそれぞれの形で参加できる絶好の機会である。
●相手を理解し、思いやりの心を持って接することは人間にしかできない。大学の教育に求められているのも、やはり「人間力」を養うことであると改めて思う。(編集子)

OPEN CAMPUS 2018 開催中!

先輩と交流して、流通経済大学を体感しよう!

流通経済大学のオープンキャンパスには、リアルな大学生活を体感できるプログラムが盛りだくさん。大学の雰囲気を感じ、模擬授業に参加し、いきいきと活躍する先輩たちと直接交流できるのがその魅力です。事前予約は不要です。オープンキャンパスに参加して、進路選択のヒントを掴もう。

- 経済学部 経済学科/経営学科 ■ 流通情報学部 流通情報学科 ■ 法学部 ビジネス法学科/自治行政学科
 ■ 社会学部 社会学科/国際観光学科 ■ スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科/スポーツコミュニケーション学科

場所	日程 ※ 8/22 は両キャンパス同時開催!				時間
龍ヶ崎キャンパス 茨城県龍ヶ崎市 120	7/28 [土]	—	8/22 [水]	9/9 [日]	11:00 ~ 16:00
新松戸キャンパス 千葉県松戸市新松戸 3-2-1	7/21 [土]	8/4 [土]	8/22 [水]	9/22 [土]	



[主なメニュー]

大学を知ろう

- ・RKU全体説明会・学生プレゼン
- ・学部学科発見コーナー・模擬授業
- ・キャンパスツアー

入試を知ろう

- ・入試説明
- ・AOエントリーコーナー

大学生活を知ろう

- ・なんでも相談コーナー・留学相談コーナー
- ・先輩とのフリートーク・ガールズトークカフェ
- ・学食体験



RKU GUIDE BOOK 2019

入試センターまでお電話か
Eメールにてご請求ください。
ホームページからもお申し
込みいただけます。
(送料とも無料)

お問い合わせ

流通経済大学入試センター

☎ 0120-297-141

🌐 <http://www.rku.ac.jp/>

✉ ees@rku.ac.jp

※各キャンパスの入試センターで個別入試相談も実施中
(詳しくは本学HPをご覧ください)。

RKU 流通経済大学

学報 **RKU Today vol.35** 2018年7月発行
 編集・発行/学校法人日通学園 流通経済大学 企画広報室
 茨城県龍ヶ崎市120 〒301-8555 TEL:0297-64-0001(代表)

